

「問題の子供」に就いて

東京 城南幼稚園 沼 館 正 尾

昨年十月來みぎり會で「幼児の生活訓練」、「音楽に就いて」、「問題の子供」の三部に別れて研究することとなり、前者については夫々有益な研究會が開かれてをりますが、「問題の子供」に關しては、その子供の生立、環境、家庭の狀況、入園以來の變化を出来る丈詳細に調べることとなり、聊か煩雜な嫌はありますけれども、當園で調べた子供の一例を擧げて皆様の御參考に供し、併せて御教導を仰ぎたいと存じます。

Sの一年間

一、入園前に判つてゐたこと

| | |
|------|-----|
| 年 齡 | 七 歳 |
| 性 別 | 男 子 |
| 兩 親 | 健 在 |
| 兄 妹 | な し |
| 父の職業 | 會社員 |
| 保育年數 | 一 年 |

一、入園式の印象

1、やせた大人びた病的な子供

口、風變りな型の洋服をきた子供

一、第一週

付添は母親

絶えず物におびえた様な、警戒深い態度をしてゐるが、泣く程のこともない。

挨拶は顔をみる丈で口では云ひ得ない。

話しかけても返事もしない。

折紙、積木を與へても手を出さない。

時々母親と庭を廻つてくる位で、母親とも話をする譯でもなし、勿論友達は出来ない。

神経質な内氣な子供を見て、早くお友達になつて安心させたいと努力してみても反應がない。

第二週

「今日から送り迎ひ丈にします」といふ手紙と共に十五、六歳の女中が付いてきた。

氣懸りなので一日丈女中を供待部屋に待たせておく。朝

一寸泣いたが特に後を慕ふ様子も見えない。

相變らず敵陣にでも居る様な警戒的な顔をして腰掛けてゐる。

話かけても何かもつていつても受付けない。

二日目頃から發作的に隣の子供をぶつたり、ひつかいたりする。それを止めるに泣いて先生の手をひつかいたり、脚を蹴つたりする、我儘さいふよりも病的である。

他の子供も變に感じたらし、先生に云ひつけても決して手出しはしない。

普通の子供と違つてゐるので特に注意して、絶えず身近において話しかけ友達になるやうに努力する。

自由畫

描かうとしない。クレヨンをもたせて一諸に日の丸の旗をかいて見せるに、赤で線だけ引く。

缺

左利き。それも自由に使ひ得ない。

遊戯

無表情な顔をして一緒に歩く丈である。

第三週

友達と遊べないが、ブラ／＼立つて歩く様になつた。「Sさん」の聲をかけるにつこり笑ひ、先生のそばに自分からゐる様になつてきた。幾らかづつ反應の出てきたのを喜ぶ。

發作的亂暴も少くなつてきた。

自由畫

獨りでかくれれども、形がない。

描く間に何遍も立つて歩く。

遊戯

興味のない顔をしてゐるけれども一緒にする。スキップは先生の手をさつて歩く。

唱歌

時々奇聲を發して、後は黙つてゐる。

さうしても病氣が其他の原因がある様に思はれる。

五月

家庭調べによつて左の事柄が判つた。

一、食事 好嫌なし。

一、病氣 三歳の時急性肺炎を患ふ。同時に軽度の腦膜炎か小兒麻痺にかゝつた疑がある。

一、體質 風邪を引き易い。

一、性質 神經過敏で小心。

依頼心が強い。

一、交友 家庭には全然ない。

其後他の子供に危険のない限り思ひのまゝにさせておく。時々聲を出して楽しさうに笑ふ様になつた。「これなあに」を話しかけてくる様になつたが返事を半分もきかない。

中に離れていつてしまふ。

お友達はお出来ない。計畫的にお友達をつくつてやつても遊べない。

挨拶

こちらから聲をかけるに出来る様になつた。

お話

聞かうさいふ氣持がない。

紙芝居

見る氣がない。

お節句の鯉

色丈はお手傳でぬり上げる。

袋造り

糊付が出来ない。

ぬり畫

まるを手本を見てぬる。色が判つてゐるのか間違はずにぬる。

目的なしに何遍も立つて歩く。軽く注意をしておく。

前の様な發作的な亂暴は殆んきなくなつたが、一種の癖の様にニヤ／＼笑ひながら、傍の子供をたゞく。

こんな場合は靜かな場所ですつかりにぎつて良く云ひきかせて「御免なさい」をいはせるやうにした。

その中たゞいた瞬間、悪いさいふ顔をするやうになつた

が、我儘さからも「御免なさい」はなか／＼云ひ得なかつた。

病氣の爲ばかりでなく、環境の影響も相當ある様に思はれるので、母親に種々打合せたかつたが病氣靜養中なので出来なかつた。

五月末頃には團體生活にも餘程なれてきたので獨りで安心しておかれる様になつた。

同年の子供達はすつかり小さい子供をあつかふ様な態度をこる。

六月

力を入れてゐたのに百日咳で缺席して落膽した。

七月

十日頃出席したが、空咳が出るので休んでもらふ。

母親がきたので、出来る丈Sさんと一緒に生活して貰ふ様頼んでおく。

八月。休暇。

九月

元氣で出席してきた。夏休中母親と逗子にゐたので體も丈夫になつてきた。

この先生へも御挨拶が出来る様になつた。

自由遊び

庭でもお部屋でも遊ぶ様になつた。

積木

四、五歳の子供の様に積木一つをおして歩いて歩いて汽車ゴツコをする。

お庭

獨りでおだんごをつくる。

そつこしておくまやゝ長い間一つのごこで遊んでゐる様になつた。

自由畫

花—葉も莖もなく、花の輪廓丈かく。

ぬりゑ

一番早くこりかゝるし、お手本をみてまちがはずにぬる。色は判つてゐる。

相變らず作業中立つて歩く。

繪本

興味をもつてきた。

同じごこを何遍もきく。追及はしない。

其態度は子供らしさをかいてゐて、人をからかふやうな風が見える。

多分環境の影響らしい。

紙芝居

一寸は覗くがすぐはなれてゆく。

レコード

一番感情を表してきいてゐる。

畫用紙なきで何かつくらうといふ氣持が動いてきたので注意してゐてちよいと手傳つて出來上らせる様に仕向ける。

出來上るまで大喜びでもつて歩く。

物の名稱はよく判るが、表現は出來ない。

母親がきて「物を見る眼、話方が變つてきたし、我儘も大分治りました」といつた。

病氣其他のごこもあまり話さない。普通の子供と思つてゐるらしい。

十月

簡単なテスト

三角、四角、長四角、圓等をもつてきてさいふを、三遍位きゝなほしてから持つてくるが形はまちがはない。

三角を三つもつてきてさいふを、一つづゝもつてきて「これでいくつさいふをながら、三つにする。

三つ一緒にもつてきてさいふを、もてる分兩手でかゝえてくる。数は判らない。

その後で「先生、さうしてこんなごこをさせるの」と訊く。

會話

見た事、ごこかへ出かけたごこを断片的に話す様になる。そんなごき家の人達の話を見せても親しめる人がなさうである。

お友達に箸が落ちてゐるさか、クレヨンが出てゐるさか
云ひ得る様になつた。

自由遊び

汽車ゴツコなきしてゐるさき、性質のやさしい子供を二
三人入れてトンネル、停車場なきをつくつてやるさ二十
分位遊んでゐる。

自由畫

一枚の紙に花、貝、三角、四角、飛行機なき書並べる。
獨言をいつたり、笑つたりして長い時間かいてゐる。

作業中歩きかけるけれども、つぎめて自制しようとする
様子が見えてきた。

ぬりゑ

少々興味をもつてきた様である。

バスケットボール

與へられたボール丈投げるさ後はボンヤリ立つて見てゐ
る丈で、協力して遊ばうさほしない。

唱歌

覺えてゐる所は大きな聲を出して、後はだまつてゐる。

絶えず身體を動かしてゐる。

發作的な亂暴は全然なくなつた。

間違つたときは「御免なさい」が云ひ得る様になつた。

母親にきてもらつて、生立から現在の環境を稍々詳しく

きいた。

一、出産 人工お産、八ヶ月で六百匁。

一、哺育 人工榮養。

満三歳まで里子にやつてゐた。

一、病氣 三歳のさき急性肺炎で相當重態であつた。

其際、腦膜炎か小兒麻痺にでも患つたらしい
疑がある。

左半身が利かず、それが自然に治つて現在は
異狀がない。

六歳のさき流行性腦炎らしい病氣にかつ
た。十日間位意識が不明だつたが治つた。

病後蕁麻疹を患つた。

一、發作 病氣の影響さ我儘よりきたもので、醫師は其

中治るさ云つてゐるさのさきである。

一、環境 父の勤の關係上、母の里方に家族全部同居し
てゐる。

三家族同居して女中三人の複雑した家庭で、
母は出産後、病氣勝で轉地療養の方が多く、
子共を看てやる暇がなかつた。

以上の生立、環境によつてその智能のおくれてゐるさき、
性格的に變つたさきのあるのは首肯される。

十一月

遅々たる歩みだけれども順調にのびてきて、今では大勢の中へおいてもあまり氣にならなくなつてきた。

自由畫

飛行機の輪廓丈で畫題に變化がない。

飛行機の話なごして色をぬらせる。

出題畫

人物——顔だけかく。耳がない。

動物——ごうやら動物らしい表現をしてきた。

作業中立つて歩くごきはなくなつてきた。

遊戯

面白さうにやつてゐる。スキップも出来る様になつた。

カルタ作(十一、十二月連續作業)

イロハ四十八字を頭字とした名詞を考へ出させる場合に、決して傍にゐない。

特に話しかけても笑ふのみで、考へる様子もなく外へ出てゆく。

自由遊び

一、砂場が一番楽しいらしい。

一、すべり臺も時々やつてゐる。

一、人の遊びを面白さうに見てゐるので、入れてやらうごしても決して入らない。

一、人との交渉をもつ遊びはまだ出来ない。

一、無表情で立つてゐる時がなくなつた。

一、お辨當をもつてきてさか、机の上の本をもつてきてさういふ簡単なお使が出来るやうになつてきた。

綱引

喜んでするが特に手を持ち添えて、引く方向を教へないご、綱につかまつてゐる丈で自分の判断で綱をひかうごしない。

十二月

自由畫

相變らず線書きが多いけれども、一人で楽しさうにかいてゐる。

飛行機、花、舟、家なごをかき、大體形が出来てきた。

なるべく彩色するやうに仕向ける。

ぬり絵

チューリップをお手本なしでぬらしてゐる。黙つてゐるご、花、葉の區別なく赤で滅茶苦茶にぬりつぶす。

落付いてごまではいへないけれども、終りまでぬつてゐる。

カルタ作り(十一、十二月連續作業)

繪をぬり、はるごは全部自分でして、大喜びでもつてかへつた。

他の子供の作業時間の三分の二位は作業してゐるやうに

なつた。
自由遊び

年下の子供か、氣立のやさしい子供と自然に遊べるやうになつた。

汽車ゴッコにも食堂車がつき、寢臺車がついてきた。

以上の程度の進歩はしたが、入學期を間近に控へてこの程度では到底他の子供と一緒に入學は覺付かないので、母親にきてもらつて、入園以來の話をして、一度、體格、智能の検査をうけるやうに奨めた。

一月

順調にのびてきた。

市の愛育館で智能検査をうける。

一、智能のバランスがとれてゐない。

A、或部分は一年半から二年おくれである。

B、或部分は普通児よりも進んでゐる。

具體的な検査項目が判らないから意見はいはれないが、Aは肯定出来るけれども、Bは首肯出来ない。見掛けが大入びてゐる點も影響してゐるのかも知れない。

Sの今後について

愛育館の意見としては

一、のんびりした田舎の小學校へ入れるか

二、良く解つてゐる今の幼稚園にもう一年おくか

三、新しい幼稚園へ入れるか(劣等感をもたせない爲) 家庭としては

智能の後れてゐる程度はよく判らないが、環境の關係上 性格の變つてゐることは明かである。

母親も最近丈夫になつて子供と一緒にくらせるし、もう一年是非願したい。

以上に對して、幼稚園としては一年後果して普通児として送らせるかさうか懸念はしましたが、今迄の経過から推してのびるさう希望はもてるし、子供もよく解つてゐますので、今一年お預りして保育することに致しました。

何よりも子供にまつて仕合せなことは、母親が丈夫になつたことであります。

今後は家庭と協力して最善の方法をとりたいを考へてをります。

就きましては、この様な子供を保育する上に皆様の御示教を得れば幸に存じます。 (二六、一、三〇)